



2020年6月30日

各 位

会社名 株式会社ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴
(コード番号 9793 東証・名証第一部)
問合せ先 執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-611-6322)

連結子会社の業績予想修正発表に関するお知らせ

本日、2020年6月30日15時に当社の連結子会社であります株式会社ダイセキ環境ソリューション（コード番号1712）におきまして、添付資料のとおり「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしましたので、お知らせいたします。

なお、今回の修正による当社連結業績に与える影響等につきましては、本日、同時に公表しております。「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上



2020年6月30日

各 位

会 社 名 株式会社ダイセキ環境ソリューション
 代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
 (コード番号 1712 東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役企画管理本部長 珍道 直人
 (電話番号 052-819-5310)
 当社の親会社 株式会社 ダイセキ
 代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴
 (コード番号 9793 東証・名証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月30日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月3日に発表いたしました2021年2月期(2020年3月1日から2021年2月28日まで)第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正

① 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,444	659	679	407	24.22
今回発表予想 (B)	7,504	579	598	346	20.59
増 減 額 (B-A)	60	△80	△81	△61	
増 減 率 (%)	0.8	△12.1	△11.9	△14.9	
(参考) 前期実績 (2020年2月期第2四半期)	7,031	641	677	400	23.81

② 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	1,371	1,400	843	50.18
今回発表予想 (B)	13,500	970	1,000	566	33.69
増 減 額 (B-A)	△1,500	△401	△400	△277	
増 減 率 (%)	△10.0	△29.2	△28.5	△32.8	
(参考) 前期実績 (2020年2月期通期)	14,048	1,237	1,296	678	40.39

③ 2021年2月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2020年3月1日～2020年8月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	6,402	468	330	19.64
今 回 発 表 予 想 (B)	6,526	407	283	16.84
増 減 額 (B-A)	124	△61	△47	
増 減 率 (%)	1.9	△13.0	△14.2	
(参 考) 前 期 実 績 (2020年2月期第2四半期)	6,068	472	335	19.96

④ 2021年2月期通期個別業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	12,910	978	689	41.01
今 回 発 表 予 想 (B)	11,535	623	434	25.83
増 減 額 (B-A)	△1,375	△355	△255	
増 減 率 (%)	△10.6	△36.2	△37.0	
(参 考) 前 期 実 績 (2020年2月期通期)	12,140	871	531	31.64

2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間につきましては、土壌汚染調査・処理事業に加え産業廃棄物等の難処理案件や災害対応への展開を積極的に進めるとともに、リサイクルセンター等における業務効率化やコスト削減策を継続して推進した結果、全体として安定した操業となりました。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、工程遅延や設備投資計画の見直しによる新規案件の減少、また、投資抑制傾向の中での競争激化による受注単価の下落が予想されます。難処理案件獲得、コスト削減等に一層注力し、市場縮小影響を回避できるよう努めますが、ある程度のマイナス影響は避けられない状況です。

上記の結果、当第2四半期累計期間における営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益（または四半期純利益）はいずれも前回発表を下回る見通しとなりました。

通期業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績予想及び今後の業界動向を踏まえ、売上予想を下方修正するとともに経費の見直しを行った結果、各利益段階において、2020年4月3日に公表しました前回発表予想を下回る見通しとなりました。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上